



辰巳小だより

江東区立辰巳小学校
校長 松下 由美子
学校だより 第7号
令和5年11月1日

(ホームページアドレス) <http://tatsumi-sho.koto.ed.jp>



恵まれた地域の中で育つ

校長 松下 由美子

辰巳の森の木々が美しく色づき、秋が深くなっていくのを感じます。

先日、休み時間に校庭で拾った赤や黄色の桜の葉を1年生がプレゼントしてくれました。色とりどりの葉を校長室の入り口に飾り、校長室が秋色になりました。昼間は暖かな日も朝晩はだんだんと冷え込むようになり、季節は移り変わっています。令和5年、2023年もあと2ヶ月となりました。光陰矢のごとし、時の経つ早さを感じます。

秋空の中、10月16日には全校遠足を行いました。1年生から6年生までがスマイル班に分かれて夢の島公園まで歩いて行きました。私も子どもたちと一緒に辰巳の森をぬけ、夢の島公園まで緑の中を40分くらいおしゃべりを楽しみながら歩いて行きました。子どもたちと歩きながら、まわりの木々を眺め、「なんて素晴らしい環境だろう」とつくづく思いました。学校から夢の島公園まで季節を感じながら緑の木々の中を全校児童で遠足に行くことができる・・・辰巳小学校のまわりの素晴らしい環境に改めて感激しました。

公園では班ごとに分かれてオリエンテーリングをしたり、お弁当を食べたりして楽しく過ごしました。1年生が6年生のお兄さんやお姉さんに甘えてうれしそうにしている笑顔や6年生がそれぞれの班のリーダーとして活躍している頼もしい笑顔、そしてその様子をほほえましく見ている先生たち・・・笑顔がいっぱいの一日でした。こんなすてきな一日を過ごすことができたのもこの辰巳の恵まれた地域のおかげです。

また、10月18日には夢の島公園競技場で江東区の6年生が集まって連合運動会が行われました。辰巳小のユニフォームを身に付けた60人が自己新記録目指してそれぞれの競技に挑みました。スタートラインに立ち、ゴールをまっすぐに見つめる子どもたちは緊張と興奮でいつもとは違う表情でした。青い空に赤のユニフォームがまぶしく光っていました。

6年生は連合運動会に向けて体育の授業でそれぞれの種目を友達と支え合いながら練習をしました。一人一人が自分の目標に向かって練習をし、あきらめずに何度も挑戦する姿は素晴らしかったです。競技をするときは誰もが一人です。昨日の自分をライバルに昨日より1cmでも遠くを、高くを1秒でも速くを目指して挑む。そしてその側にはあきらめずに頑張る仲間を必死で応援する仲間の姿がありました。競技を終えた子どもたちの表情は、どの子も晴れ晴れとしていました。

夢の島競技場という素晴らしい競技場で思いっきり走り、跳び、声援を送る・・・このような経験ができるのも江東区という地域の恵みであると実感した秋の一日でした。